

一般会計決算163億2116万円 実質収支は黒字

住民福祉の向上に向けて 税金の使い道を検証！



問 川と水を守る運動への参加者は毎年高齢化している。泥土堆積部分の清掃など、地元の方では難しい所もあり、そういう部分を市で行ってもらえないか。



川と水を守る運動

答 現在市直営で1園だけ残っている保育所についてどう考えるのか。

答 公立保育所の役割は、市内保育所全体の保育の質の向上である。また障害児保育や休日保育等、民間では難しい部分も担っている。

現在、庁内では、公的関与のあり方検討委員会の中で検討を行っている。

問 英語教育が義務化されるにあたり、先生たちの負担を軽減するために、ALT（外国語指導助手）を増やすというように考え方はないか。

答 現在、ALTは2人教諭免許はないため、担任教諭と一緒に授業を行っている。英語教育については、充実していく必要はあると認識している。

問 まくいかない行政区があることは認識している。道路・水路課では地元への支援制度で対応している。

問 ループ駐車場は近年利用者が減少し、委託料も引き下げている経過があるが、収支はどうか。

答 現在は黒字である。ただ、周辺に民間の駐車場も増えており、利用は以前よりも減少傾向であるが、必要性はあると感じている。

問 現在、災害時の個別受信機を行政区長宅などに配布しているが、雑音が入り、聞き取りにくい。

答 行政区長、避難所となる施設等へ配布しているが、ラジオと同じ仕組みであるため家の中でも場所によって受信状況が変わる。できるだけ窓際などに置いて受信しやすいうようにしてほしい。

問 要援護者への配布は、要援護者は自ら動くことに支障があるので、配布するとすれば支援者の方かと考えている。



いざという時のための備えを（個別受信機）

主な質疑

◇平成25年度特別会計の決算額

会計区分		決算額（対前年度比）		会計区分		決算額（対前年度比）	
国民健康保険	歳入	56億6,567万円（1.1%）		市営住宅敷金管理	歳入	2474万円（0.1%）	
	歳出	56億6,341万円（2.1%）			歳出	121万円（△34.6%）	
後期高齢者医療	歳入	6億1,326万円（2.3%）		住宅新築資金等貸付	歳入	338万円（11.9%）	
	歳出	5億8,538万円（1.1%）			歳出	5,697万円（△3.4%）	
介護保険	歳入	33億9,863万円（4.0%）		下水道事業	歳入	10億3,691万円（9.1%）	
	歳出	33億702万円（4.0%）			歳出	10億3,477万円（9.1%）	
地域包括支援センター事業助定	歳入	3,591万円（△11.1%）		地方独立行政法人筑後市立病院貸付	歳入	5億3,688万円（△35.5%）	
	歳出	2,952万円（△13.3%）			歳出	5億3,688万円（△35.5%）	

◇平成25年度企業会計の決算額

会計区分	収益的収支（対前年度比）		資本的収支（対前年度比）	
	水道事業	収入	6億7,176万円(1.6%)	収入
	支出	5億128万円(3.6%)	支出	1億2,843万円(△65.5%)

問 職員研修について、例年予算額に対し決算額がかなり少ない。また報告では40代、50代の研修参加が少なく、管理監督者層の研修のあり方を検討したいとある。この世代がレベルアップし



コンビニ納付一層の周知を

問 コンビニ納付の効果は。

答 平成23年度に先行して始まった軽自動車税のコンビニ納付率は、23年度27.87%が25年度32.17%へ、納期内納付率も、23年度78.63%、25年度82.21%と増加している。24時間納めることができる利便性から、一定の効果があったと感じている。

問 定期監査の指摘事項については、該当部署から今後の対応について監査委員へ回答するようになっていた。当然、管理職から担当職員へは、今後の事務処理の進め方について指導等を行っている。

問 滞納処分との関係で、執行停止をしたらすぐに不納欠損となるのか。

答 執行停止の後、3年間経過し、状態が変わらなければ不納欠損となる。

問 監査報告では、同じような指摘が毎回繰り返している。このような状況をどう考えるのか。事務処理の改善の指導などやっているのか。

問 この年代は職場の中心となるべき世代だが、業務繁忙等の理由で研修に参加できていない状況がある。講師を招いての庁内での研修など、研修のあり方も工夫していきたい。